

1 単元 世界の諸地域「北アメリカ州」 ～経済大国アメリカの葛藤～

2 指導の立場

＜子どもの実態から＞

子どもは、「世界の諸地域“ヨーロッパ州”」の学習において、ヨーロッパ州の地域的特色とともに、地球的課題について理解を深めてきた。そこでは、EU統合の拡大による影響について考察し、経済格差や環境問題など地球的課題の現れ方を捉えてきた。このような子どもが、「北アメリカ州」の学習においても、アメリカ合衆国が経済大国である理由を多面的・多角的に考察する活動に取り組めば、地域的特色を比較しながら、異なる視点や背景に気付くことで、地域の抱える課題を多角的・多角的に捉え、社会の見方を広げることができるだろう。

そこで、単元を構想するに当たっては、次のような教材を設定する。

＜教材について＞

本教材は、北アメリカ州の自然環境や人口、産業などについて考察する活動を通して、生産と消費の問題といった地球的課題を捉えることができる教材となっている。ここでは、地図や統計から、北アメリカ州の地域的特色や地域的課題を見出だしながら、課題解決に向けて主体的に関わろうとすることが大切である。そこで、アメリカ合衆国が経済大国である理由を考察する活動を設定する。子どもは、地域的課題に内在する価値観や制度の在り方に目を向けながら、様々な側面や立場に立って、経済成長の持続可能性について考察するだろう。

そのような学びを実現するために、指導にあたっては、次の点に留意する。

＜指導上の留意点＞

- 課題を解決するために必要な資料や統計が何か話し合う活動を設定することで、子どもが単元の見通しをもち、学習活動の選択ができるようにする。
- 収集した情報や分析したことを基に、自己の考えや気付きを伝え合う時間を設定することで、学習課題に対する理解を深め、新たな課題を見いだすことができるようにする。
- 単元を振り返る活動を設定することで、単元を貫く学習課題に対する自己の考えを形成したり、選択した学習活動のよさや改善点を認識したりすることができるようにする。

3 目標

- (1) 北アメリカ州の地域的特色を大観し、理解することができる。 【知識及び技能】
- (2) 北アメリカ州で見られる地球的課題の要因や影響を、地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、北アメリカ州の地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現することができる。 【思考力・判断力・表現力】
- (3) よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。 【学びに向かう力・人間性等】

4 指導計画（総時数 8 時間）

次	学習活動・内容	単元の指導上の留意点
一 ①	○ 学習課題を設定し、単元を見通した学習活動を選択する。 ・単元を貫く学習課題の設定 ・課題を解決するために必要な資料	○ 現在のアメリカの経済規模やその推移を紹介する。そうすることで、アメリカが経済大国であることを理解し、その理由について追究しようとする意欲を高めることができるようにする。
二 ⑦ 本時 6 ／ 7	○ アメリカが経済大国となっている理由について、情報を収集し、自己の考えを形成する。 ・自然環境、人口、農業、工業の特色 ○ 経済大国となる理由について考察し、アメリカの地域的特色を理解する。 ・アメリカの地域的特色 ・新たに追究したい学習課題の発見 ○ 様々な立場でアメリカの経済成長の影響を分析する。 ・経済成長の恩恵を受ける人々 ・環境問題など負の影響を受ける人々 ● 新たに見出した学習課題を追究する。 ・経済成長と環境保全のバランス ・地球的課題と内政不干渉の原則 ○ レポートを作成する。 ・アメリカの地域的特色 ・アメリカで見られる地球的課題	○ 重点的に取り組みたいテーマを選択し、調べる活動を設定する。そうすることで、地域的特色を的確に捉え、自分の考えを深めることができるようにする。 ○ 疑問に思ったことや、さらに調べてみたいことを出し合う時間を設定する。そうすることで、追究したい新たな学習課題を設定し、課題意識を高めることができるようにする。 ○ 経済成長と環境保全の両立など、地球規模の課題について自己の考えを形成する活動を設定する。そうすることで、持続可能な社会の実現などを視野に、各地域の特色を踏まえて、現代社会の諸課題を解決しようとすることができるようにする。

5 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・北アメリカ州で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、現れ方が異なることを理解している。 ・北アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、北アメリカ州の地域的特色を大観し理解している。	・北アメリカ州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	・地球的課題について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に追究し、解決しようとしている。

6 本時案 ー第二次・6時分ー

(1) 主眼 アメリカが経済成長し続ける可能性について考察する活動を通して、経済活動が国際社会に与える影響について理解することができる。

(2) 準備 配付資料

(3) 学習の展開

学習活動・内容	予想される子どもの反応	指導上の留意点	分
1 学習を振り返り、本時の課題意識を高める ・経済規模や成長率	ア 外国からの移民が多く、労働力や消費者が豊富で企業が活動しやすい イ 様々な気候が分布しているから、幅広い産業が発展しやすい環境だった	・ これまでの学習を振り返り、アメリカの経済規模や成長率を提示する。そうすることで、本時の課題意識を高められるようにする。	5
2 アメリカがこれからも経済成長し続けることは可能なのかについて討論する ・大量生産・大量消費 ・技術革新 ・地球温暖化、環境問題 ・先進国と途上国の関係	ア アメリカが成長すれば、他の国も貿易や連携によって発展するかもしれない イ 経済成長すれば、国民の生活は豊かになるから成長し続けるほうがよい ウ 経済成長によって、無駄な開発も増え、環境に負の影響を与えるのではないだろうか	・ 解決に向けて必要な情報や資料について検討する時間を設定する。そうすることで、根拠をもって発言できるようにする。 ・ 経済成長し続けることは誰に影響を与えるのか問いかけ、アメリカだけの問題ではないことに気付くことができるようにする。	30
3 他国の活動に対して、どう関わることができるか考察する ・地球的課題 ・内政不干渉の原則	ア 地球全体の問題である以上、積極的に関わるべきである イ アメリカに他国が意見することができるのか	・ 内政不干渉の原則について紹介する。そうすることで、地球的課題の解決方法について追究する意欲を高めることができるようにする。	45
4 本時の学習を振り返り、新たに追究したい課題を設定する ・追究したい学習課題	ア どうすれば、アメリカの経済活動は持続可能なものとなるだろうか イ 経済大国のアメリカはどのように環境問題に取り組んでいるのだろうか	・ 本時の学習を振り返り、新たに追究したい学習課題を設定することで、次時の活動について見通しをもつことができるようにする。	50

(4) 評価規準と方法

アメリカが経済成長し続ける可能性について考察する活動を通して、経済活動が国際社会に与える影響について理解することができたか、発言やノートの記述からみとる。

<メモ>